

まちづくり活動提案書

(地域“魅力”アップ部門 ・ “はじめの一步”部門)

※助成を受けようとする部門を○で囲んで下さい

1 助成を受けようとするまちづくり活動の提案について

<p>団 体 名</p>	<p>和みの散歩道の会</p>		
<p>提 案 名</p>	<p>高架下を負の遺産とせず、愛着の持てる魅力ある環境づくりと地域コミュニケーションづくりの資源としての可能性を追求したい。</p>		
<p>提案活動を行う地域</p>	<p>名古屋市千種区田代町及び振甫町に渡る都市計画道路高架下空間等を中心とする地域</p>		
<p>提案の背景</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当地域の田代町側と振甫町側は学区が異なり、自治会活動も関わりを持つことは全くなかった。さらに高低差10m以上の険しい斜面の特徴的な地形により、道路建設前は日泰寺（覚王山）の縁日以外は人々の往来が非常に少なかった。 ・ 高齢化や世代交代がすすみ、マンションに建て替えられ、当地域においても住民の入れ替わりが多くなってきて、住民同志のつながりは希薄で地域コミュニティの形成はますます難しくなっている。 ・ そのような地域に、高架式の道路が建設された。高架式空間はゴミ投棄や落書きの温床になって、犯罪も起きやすく劣悪な環境となりやすい。地域住民の安全で衛生的な生活が脅かされる懸念（不安）が募った。 		
<p>提案活動の目的・目標</p>	<p>(活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 目的 “和みの散歩道”が文化・芸術・健康の道として愛され活用されて、多くの人々に見守られながら、一層快適で安全な環境をつくり上げるとともに地域コミュニティを高める。 ■ 目標 “和みの散歩道”の利用者数がイベント当日は勿論のこと、恒常的に高める状況にするために環境を整える。 ■ 成果 活動を通して、互いに“見知らぬ人”でなくなり、大地震等災害にも助け合えるような関係づくりに貢献でき、また、学区間の隔たりも解消して、融合したより大きなコミュニティの形成が期待できる。 		
<p>提 案 の 容</p>	<p>(上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入ください。)</p> <p>○春の企画 ザ・和みの散歩道祭 《資料1参照》 ☆コンサート《和み小広場》☆アート展示《高架下赤レンガ遊歩道》 ☆野点《覚王山スペースR》☆親子で楽しむストリートパフォーマンス ☆防災すごろく（大船渡を支援する会）☆太極拳演武（名古屋市高年大学同好会）</p> <p>○秋の企画 ザ・和みの散歩道祭 春のイベントに準じて、秋のイベントを開催する。</p> <p>○平面作品・立体作品を問わず、アート作品が今秋から常設で展示できるように環境を整備し、近隣住民等の発表の場・交流の場にする。</p>		
<p>活 動 期 間</p>	<p>平成 29 年 4 月～ 平成 30 年 3 月</p>	<p>助 成 金 交 付 申 請 額</p>	<p>3 0 万 円 (仮)</p>

2 提案内容の視点

以下の視点で提案内容についてご記入ください。

<p>審査基準① 必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・地域との連携や協力が得られる活動か ・活動メンバーのみの趣味活動や仲間づくりではなく多くの人に理解や共感が得られる活動か ・工事を伴う活動の場合、公益性、公共性のあるものか
<p>(提案活動の必要性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <p>※過去の助成を受けた団体は、その活動助成の成果も踏まえて記入下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域は、緑豊かな住環境に恵まれていたが、高架式道路が開通し環境が一変した。市民と行政で建設的な協議を重ね、高架下に鍋屋上野浄水場廃材赤レンガを活かした魅力的な散歩道が、両者の協働により整備されが、創造的かつ積極的に活用する必要がある。 ・植栽の水遣りなどは地域住民が中心に活動中だが、揚輝荘など多くの魅力資源のある城山・覚王山地区の一部として連携・協力も一層進めている。 ・往来する人々の”多くの目”が負の行為に対する有効的な抑止力となると考え、”和みの散歩道”の存在を知ってもらい、広く多くの人々に往来してもらえるような魅力ある散歩道にするために、2つの学区の住民が中心となって協力し合い、春と秋にイベントを開催してきた。そして、全くなかった当地域にコミュニティが生まれてきている。 ・春イベント当日に、来訪者を対象としたアンケート調査を実施したところ、9割近くの人々が次回も参加したいと回答しており、期待の高さが地域の人々のみならず遠方からの来訪者にもみられ、特に中・高年層の方々に当イベントが好意的に受け入れられ、支持されている実態が示された。《資料2参照》 ・当散歩道の存在が徐々に知られるようになり、イベント当日は多くの参加者・来訪者があり、平常時も通勤・通学や散歩・ジョギングのコースとして利用してもらえるようになったが、その数はまだまだ多いとは言えない状況で、平常時の散歩道としての魅力アップをはかることも大切で、そのためにはアート作品常時展示等の環境整備が必要である。 ・近頃、和みの散歩道を近隣の小学校や幼稚園・保育園が校外学習の子どもたちの活動の場として利用している状況が見受けられるようになった。この散歩道を地域住民の交流の場や子どもたちの学習の場として、一層の魅力アップと維持向上に努めなければならぬ。 	
<p>審査基準② 独創性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫にあふれた活動か ・地域性を活かした個性豊かな活動か ・新しい視点やアイデアがあるか
<p>(提案活動の独創性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高架道路下の空間を花と緑と赤レンガ等で整備された散歩道で、春と秋の年2回、「ザ・和みの散歩道祭」を開催する。 ・100m以上続くコンクリート擁壁や赤レンガ道をギャラリーに模様替えし、写真・絵画・彫刻・生け花・陶芸等を展示し、コンサート・ワークショップ・野点などを行う。 ・このような活動で、鉄骨やコンクリートでできた高架道路の無機質で威圧感のある巨大構造物の印象を柔げ、高架下を楽しく魅力的な空間へと変貌させる。 	
<p>審査基準③ 実現性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容が具体的になっているか ・自己資金を含め、活動内容や資金計画などは妥当か ・場所や人員、規模などは妥当か
<p>(提案活動の実現性について上記観点から分かりやすくご記入ください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すでに5年間の活動実績があり、会員やイベント出演者等に活動趣旨や活動の手順などの理解が深まっている。また展示作品も洗練されたものが多くなりつつある。 ・会の運営は225名の会員からの会費で賄っている。 	

審査基準④ 発展性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか ・工事を伴う活動の場合、成果物はまちづくりにどのように活かされるか
--------------	--

(提案活動の発展性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)

- ・一昨年度、都市センターからの助成を受けて、案内看板を要所に設置したことにより、高架下の散歩道が東山給水塔、日泰寺、揚輝荘、城山八幡宮など多くの魅力資源の存在する千種区城山・覚王山地区の一部として、多くの市民に周知され定着することで交流の輪が広がってきた。
- ・「和みの散歩道」は田代学区と高見学区の境に位置するからこそ、広域的なまちづくり活動への発展のカギを握っている。
- ・新たな取り組みの一つとして、JR 東海の「さわやかウオーキング」のコースとして選定してもらい、高架下ギャラリーとして生かされた「和みの散歩道」の存在やその良さを、新たに 8 千名位の人々に知ってもらう機会とすることができた。今後は更に名古屋市交通局「駅ちかうオーキング」のコースに選定してもらえるよう努力するなど、様々な機会をとらえて、当散歩道の存在と良さを発信していく。
- ・将来的には文化・芸術・健康の交流の場として発展させたいと考えている。これまでは、春と秋にイベントを年 2 回開催してきだが、今後はこれに留まらず高架下空間の展示スペース近隣地域の方々や学生や子どもたちに開放し、自分で作った作品を発表できるように「年間を通じた常設展示の場」を設け、今秋第一歩を踏み出す。そのためには、近隣大学、高校等への働きかけにより、会の趣旨への理解や賛同を得ながら各団体等の希望にも応えつつ、より地域の町づくりに貢献できる活動として発展させる。
- ・高架下空間が持つ可能性を見出した全国的にも珍しい取り組みは、他地域のモデルとしての役割を果たす。

審査基準⑤ 活動実績 と主体性	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容につながる地域での活動実績を有しているか ・具体的にどんな熱意を注いでいるか ・工事を伴う活動の場合、自ら主体となって工事を行い、継続的に維持管理する能力があるか
-----------------------	--

(団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等を上記観点からご記入下さい。)

- ・平成 24 年 7 月 高架下空間を誇りと愛着が持てる資源として発展させるため、市民団体「和みの散歩道の会」を設立した。
- ・現在会員数は 220 余名ですが、高齢化の進行などのより結集者が減少する傾向である。このため近隣地域住民への活動が一層広がるよう各種連携を強化している。
- ・春と秋には「ザ・和みの散歩道祭」を開催し、地域の魅力アップに努めている。
- ・H27. 3. 14 愛知県知事「人にやさしい街づくり賞」を受賞した。
- ・H27. 12. 18 国土交通省中部地方整備局「中部の未来創造大賞」を受賞した。

《資料 3 参照》

3 提案活動にあたり他団体、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等と取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
・名古屋市緑政土木局道路建設課	高架下道路の維持管理等指導助言の協力要請
・名古屋市千種土木事務所	〃
・名古屋市千種区役所地域力推進室	〃
・名古屋市立大学芸術工学部等	近隣大学等に関する地域連携の指導援助要請
・愛知工業大学名電高校吹奏楽部	〃
・名古屋大学附属中・高ブラスバンド部	〃

※第 2 号様式は 3 ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とする。